

株主の皆様へ

第62期 株主通信

2022年4月1日～2023年3月31日



TAKAMAZ はパラリンアートを応援しています

 Paralym Art®

パラリンアートとは

障がい者アーティストの経済的な自立を目的とし、
彼らのビジネス支援を行う活動です。

作品名 「夏」 KOTOさん/作

TAKAMAZ
高松機械工業株式会社

証券コード：6155



代表取締役社長

高松宗一郎

外部環境の変化に適切に対応し 今なすべきことに取り組んでいきます

Q 第62期(2023年3月期)の振り返りをお願いします。

A 積極的な営業活動に努めたものの、
業績は横ばいとなりました。

第62期は、中国におけるゼロコロナ政策、ウクライナ問題、世界的な金融引き締めなどの影響で、依然として不透明な状況で推移しました。

工作機械業界においては、2022年度の業界受注総額が前年度に比べ回復しましたが、外需では、インフレ懸念の台頭や、それに伴う金利上昇による設備投資意欲の減退、内需では、主要な業種である自動車関係において依然として回復遅れが続くなど、足元では様々なリスクが山積しています。

当社グループでは、国内では東京のJIMTOF2022、海外ではアメリカのIMTS2022へ出展したほか、あさひ工場や海外各子会

社でプライベートショーを実施するなど、国内外で積極的な営業活動を行いました。

更に、変化する市場への対応と新規開拓のため、当社の主力受注先である自動車関係以外の市場や加工分野のお客様へ営業活動を行い、建機、半導体及び農機向けなど、幅広い業界のお客様から受注をいただきました。

このように積極的に受注獲得に努めましたが、自動車関係の回復遅れが影響し、当社グループの工作機械受注高は122億39百万円(前年同期比8.1%減)、工作機械受注残高は55億92百万円(同7.8%減)にとどまりました。

また、第62期の当社グループの連結売上高は166億75百万円(同0.3%減)、営業利益は5億16百万円(同52.8%減)、経常利益は6億19百万円(同47.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は4億89百万円(同38.5%減)となりました。



第63期(2024年3月期)の見通しと
取り組みを教えてください。

A 期待と不安が混在する状況ですが、 今後も変化を恐れず挑戦し続けます。

日本経済の先行きについては、アフターコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されますが、一方で、海外景気の下振れが日本経済を下押しする懸念があります。

当社グループの主力分野である工作機械業界では、原材料価格やエネルギー価格の高騰等による需要の減少が懸念されますが、自動化、省人化、カーボンニュートラルなどの潜在ニーズがあり、国内自動車関係においても、設備投資の本格化が期待されています。

このように先行きは期待と不安が混在していますが、当社グループでは、「中期計画2024」の2年目として、受注アップと利益の拡大、

人材育成、設備投資など、今なすべき計画を着実に進め、社員と会社が一体となって変化と挑戦を続けていきます。

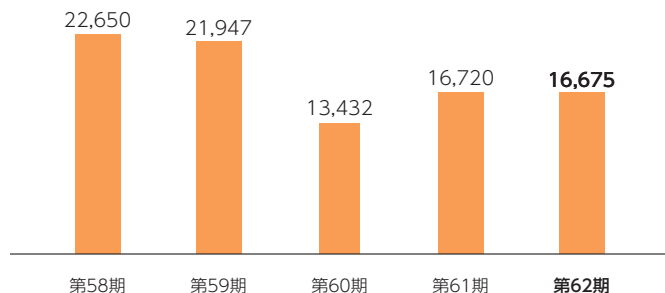
また、第63期は、当社の主力事業である工作機械事業の更なる強化を目的として、従来の営業本部と生産本部を廃止し、営業部門と生産部門を工作機械事業本部直轄の組織としました。

更に、より一層の事業拡大のため、新事業(※)への挑戦を進めているほか、前期に立ち上げた、当社における将来のあるべき姿や進むべき方向性を議論するための社内プロジェクトチームにて、議論に基づき決定した取り組みを順次実行していきます。(※新事業についての詳細は4ページをご覧ください)

以上を踏まえて、第63期の連結業績予想については、売上高186億84百万円、営業利益5億14百万円、経常利益5億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3億80百万円を見込んでいます。

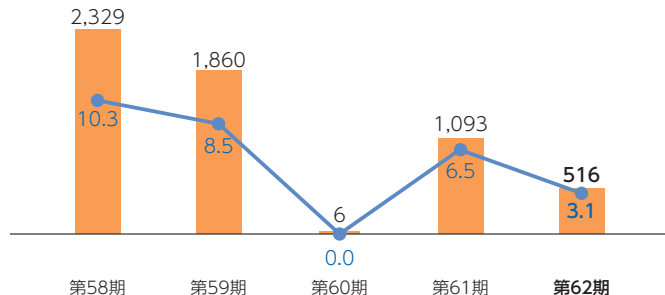
売上高

(単位：百万円)



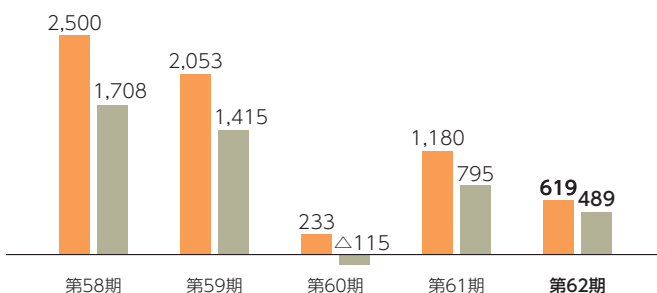
営業利益 ● 売上高営業利益率

(単位：百万円、%)



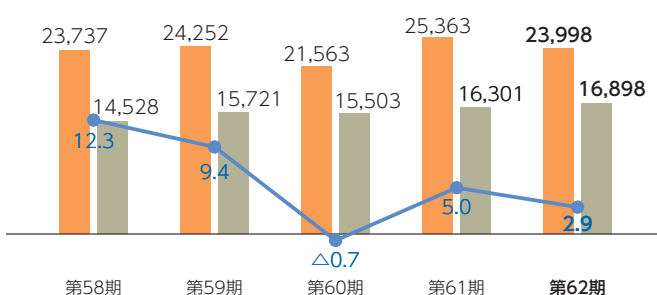
経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



総資産額 ■ 純資産額 ● 自己資本利益率(ROE)

(単位：百万円、%)



Q サステナビリティの実現に向け、どのような取り組みを進めていますか。

A 気候変動問題への対応を進めたほか、従業員エンゲージメントの向上に努めました。

サステナビリティの実現には、気候変動問題への対応が欠かせません。これまでもモノづくりを通じてお客様のカーボンニュートラル達成に寄与する新製品開発に取り組んできましたが、更に当社自身への取り組みとして太陽光発電設備の活用を決め、CO₂排出量の削減を進めることとしました。

まずは本社工場の屋根の一部に太陽光パネルを設置するとともに、カーポート型太陽光発電設備を建設しました。冬の積雪に耐えられる仕様とすることで駐車スペースを有効活用することができました。2023年夏に稼働開始し、本社工場におけるCO₂排出量を約14%削減できます。

あさひ工場でも太陽光発電設備の準備検討を進めているほか、更なる再生可能エネルギーの活用についても検討していきます。

また、当社グループがサステナビリティの実現に向け、企業価値の向上をはかっていくためには、人が重要な資産であると認識しています。そこで昨今の物価高騰に配慮し、ベースアップ等による従業員の処遇改善をはかるなど、働きやすく、働きがいのある職場環境とするための取り組みも進めており、従業員エンゲージメントの向上に努めています。TAKAMAZの次代を担う人材獲得のために、テレビCMの制作・放映による企業イメージ向上や認知度アップもはかりました。



本社工場のカーポート型太陽光発電設備

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社グループの主要受注先である自動車関係は、大きな転換期にきていると言われています。その一つがEVシフトでありますが、クリアすべき課題も多く、EV生産のための設備投資はまだ本格化しておりません。また、将来的なEVの増加が見込まれますが、すぐにガソリン車がなくなるわけではありませんので、EVシフトの変遷期では、ガソリン車、ハイブリッド車、EV、さまざまな種類の自動車が生産されることになり、工作機械の需要は、中期的な拡大が期待されます。当社グループは自動化技術、カスタマイズ力に強みがあることから、自動車関係に多くのお客様がおります。そのため、今後の事業拡大に向けたチャンスがあると見ており、積極的な取り組みを推進しています。

また、将来的な事業環境の変化を鑑み、近年は自動車関係以外の新規開拓にも力を入れています。当社グループの認知度向上のため、幅広い産業に積極的な営業活動を推進しており、その成果は徐々に実を結びつつあります。

足元の工作機械業界は調整局面にあり、力強い設備投資需要を取り戻すには懸念されるリスクも多々あると見られていますが、中長期視点では、更なる市場拡大が見込まれる業界です。当社グループは、第63期の経営目標達成とともに、中長期的な企業価値向上をはかるため、「チェンジ」「チャレンジ」の精神をもって今なすべきことにまい進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご指導を心よりお願い申し上げます。

2024年3月期連結業績予想

売上高	186億84百万円（前年同期比 12.0%増）
営業利益	5億14百万円（前年同期比 0.5%減）
経常利益	5億50百万円（前年同期比 11.2%減）
親会社株主に帰属する 当期純利益	3億80百万円（前年同期比 22.3%減）

新事業への挑戦 ～資源ゴミAI自動選別機～

当社では、「チェンジ」「チャレンジ」を合言葉に、中期計画2024を推進しています。

そのような状況の中、新たに当社の技術力をもってリサイクル業界の課題を解決に導く事業にチャレンジしています。

まずはスタートとして、異業種企業の技術を融合した資源ゴミAI自動選別機を開発しました。

この事業が、工作機械事業に次ぐ当社の柱となるよう、より一層の拡大に向けてチャレンジを進めていきます。

リサイクル業界の課題

●カーボンニュートラル・SDGsをはじめとする環境問題が取り上げられ、リサイクルのニーズが高まる

●ゴミの量が年々増えているにもかかわらず、手作業でのゴミの選別が主流

●ビンのリサイクルには色選別が必要で機械選別はハードルが高く、ビンの色ごとに手作業で選別



●リサイクル業界は人手を確保するのに苦戦

当社の強みである自動化技術と、株式会社PFUの技術により、ビンの色選別を自動化する資源ゴミAI自動選別機を開発しました

TAKAMAZ
自動化技術



PFU
A RICOH Company
複合照明技術
×
特徴融合認識技術

資源ゴミAI自動選別機

製品紹介

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



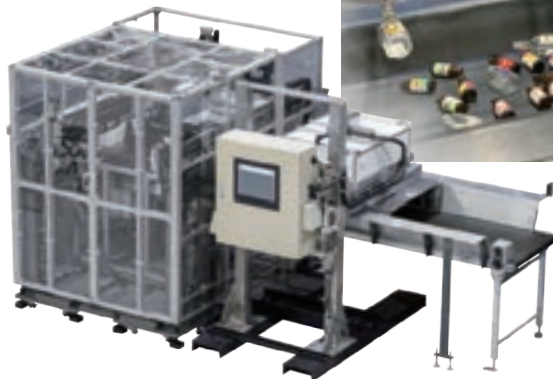
資源ゴミAI自動選別機は、株式会社PFUと当社の技術を融合した、リサイクル業界の課題を解決する製品です。

この製品は、株式会社PFUの資源ゴミ自動選別AI認識システムにより、選別対象物の特徴を認識します。その後、当社のロボットを利用した自動化システムが、認識したビンピックアップし、選別作業を行います。

資源ゴミAI自動選別機の利用により、現場の必要人員を大幅に削減でき、リサイクル業界の人手不足解消に寄与するとともに、ビンのリサイクルを推進し、SDGs達成を叶えます。

今後は、ビン以外の選別が可能な製品開発も行っていくほか、リサイクル市場に対し、当社の自動化技術をもって、人手不足を解消するソリューション提案をはかっていきます。

高松機械公式YouTubeで
詳しい紹介動画を公開しています。
是非ご覧ください！



株主通信の表紙に「パラリンアート」の作品を採用

「パラリンアート」とは、一般社団法人 障がい者自立推進機構が実施している、障がい者アーティストの社会参加と経済的自立への支援を行う活動です。今回、当社が本社を置く石川県在住のアーティスト、KOTOさんの「夏」という作品を掲載させていただきました。これからの季節にぴったりの爽やかな作品となっています。

今後も作品の採用を通じて、SDGsの目標達成に貢献するとともに、サステナビリティの実現に向けて取り組んでいきます。



Paralym Art®

生産性向上に向けた取り組み

本社工場において、生産体制の強化を目的に、生産レイアウトの見直しに取り組んでいます。その一環として、2階に位置していた精密組立室を1階に移設しました。

これまで1階と2階に分かれていた生産エリアを、1階に集約したレイアウトとすることで、人とモノの移動時間を約半分に削減



ことができ、製造リードタイムの短縮を実現します。

また、精密組立室移設に伴い、使用している機器の見直しも行いました。部品洗浄においては自動洗浄装置を導入し、手作業を削減するなど、従来に比べ大幅な生産効率のアップに繋がります。

今後も、より効率的な生産体制を目指して既存設備の見直しを行い、生産能力の拡大に努めていきます。

CM制作・放映

地域の皆様に当社を身近に感じてもらい、今後の採用活動にも役立てることを目的として、当社のCMを制作・放映しました。このCMは、実は密かに「TAKAMAZ」に強い憧れを抱いている父、そしてその娘が織りなす物語シリーズとなっています。

当社HPには、CM動画やメイキング風景を掲載していますので、是非ご覧ください。



メカ好きお父さん「嫉妬編」

当社HPでも
是非ご覧ください！



メカ好きお父さん「動揺編」

あさひ工場見学会のご案内

株主様に当社のフラッグシップ・ファクトリーであるあさひ工場をご覧いただき、当社へのご理解を深めていただくことを目的に、工場見学会を開催します。

開催場所 当社あさひ工場 石川県白山市旭丘4丁目13番地

対象者 2023年3月31日現在で100株(1単元)以上保有する株主様

募集人数 80名(1開催あたり20名×4開催)

日時 ①2023年10月12日(木) 10時～11時30分
14時～15時30分

②2023年10月24日(火) 10時～11時30分
14時～15時30分

集合・解散 いずれかをお選びください。

①あさひ工場

②JR金沢駅 ※JR金沢駅⇄あさひ工場間の移動は当社で送迎いたします。

応募方法 株主アンケート(WEBアンケート)と併用しておりますので、応募フォームへのアクセス方法は裏表紙をご覧ください。

締切日 2023年8月25日(金)



〈注意点〉

- お申込みの際、記入漏れ等がある場合、無効とさせていただきますのでご了承ください。
- ご応募が多数の場合、抽選となる場合がございます。
- 株主様お一人につき、同伴者は一名まで(小学生以上)とさせていただきます。
- 天候、諸般の事情により内容が変更、又は中止となる場合がございます。
- 参加費無料(ご自宅から集合・解散までの往復交通費は株主様のご負担とさせていただきます)

あさひ工場 絶賛稼働中!

あさひ工場は、挑戦し、成長し続けるためのフラッグシップ・ファクトリーです。本格稼働から1年が経過した現在の様子をお届けします。

営業フロア



フリーアドレスで、多種多様な席が用意されている営業フロア。使いやすいミーティングエリアの活用でコミュニケーションが活性化しました。

製造フロア



機械をお客様仕様にカスタマイズする重要な組立工程を担っています。広く使い勝手の良い生産スペースから、高品質・高精度なTAKAMAZ製品が生まれています。

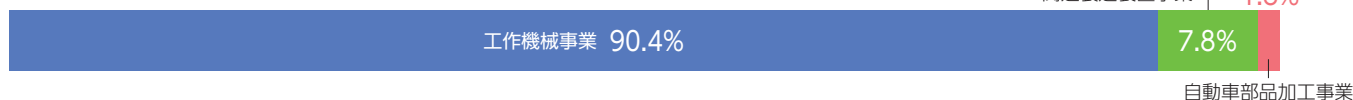
オレンジキッチン



おいしくて健康なメニューを提供するカフェテリア「オレンジキッチン」は、仕事へのモチベーションがアップし、生産性アップにも繋がると、社員から大好評です。

セグメント別概況

第62期 売上高構成比



工作機械事業

売上高 **15,074**百万円
(前年同期比 1.6%増)

営業利益 **469**百万円
(前年同期比 52.6%減)



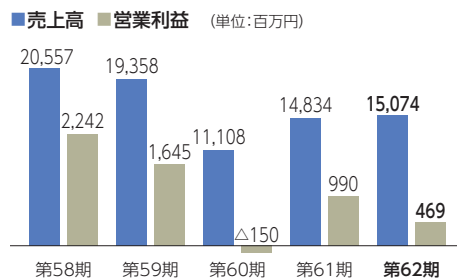
営業面では、国内外で積極的な直接営業を行うとともに、デジタル販促資料の充実やWEBを活用したお客様との接点の強化にも努めました。また、複雑化、高度化するユーザーニーズに対応するため、全社横断で取り組みを進め、受注前段階での技術部員の客先同行訪問を行い、引合段階でのソリューション提案に取り組みました。

地域別の売上高は、北米向けが大幅に増加した一方で、国内向け、アジア向け及びヨーロッパ向けが減少し、内需が93億25百万円(前年同期比5.6%減)、外需が57億49百万円(同15.9%増)、外需比率が38.1%(前年同期は33.4%)となりました。

生産面では、生産能力拡大や生産性向上に取り組む、横型マシニングセンタの導入、精密組立室の移

設を行いました。

製品面では、カーボンニュートラルやSDGs達成に寄与し、省エネ・省スペースを実現する新製品として、[XTS-6][XWG-3]の2機種を開発しました。



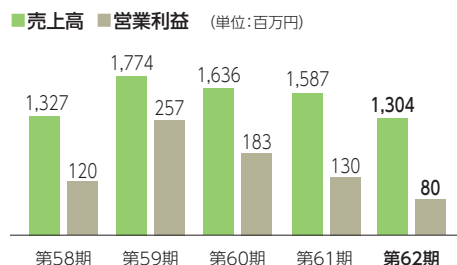
IT関連製造装置事業

売上高 **1,304**百万円
(前年同期比 17.9%減)

営業利益 **80**百万円
(前年同期比 38.7%減)

積極的に推進している新規案件の開拓による売上貢献があったものの、半導体の需要が徐々に鈍化していきましました。

また、一部製品では年間を通じて部品調達難が継続し、生産への影響が長引いたことにより、売上高、営業利益ともに減少しました。



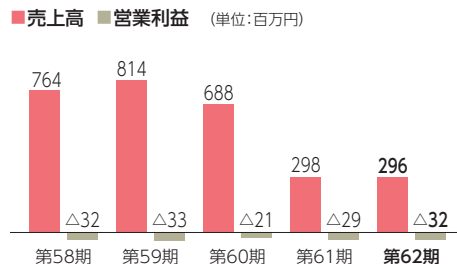
自動車部品加工事業

売上高 **296**百万円
(前年同期比 0.6%減)

営業利益 **△32**百万円
(前年同期は △29百万円)

取引先である自動車メーカー等の需要は、在庫調整や生産調整などにより、年間を通して不安定に推移したことで、売上高が前年同期と同水準にとどまりました。

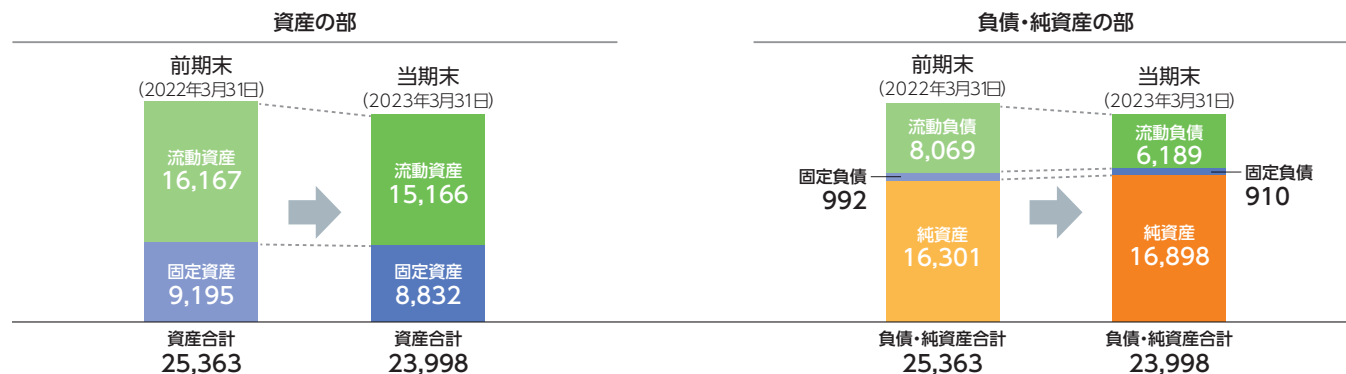
利益面では、受注数量に見合った柔軟な生産対応やコスト削減に努めたことで、赤字幅は前年同期と同程度になりました。



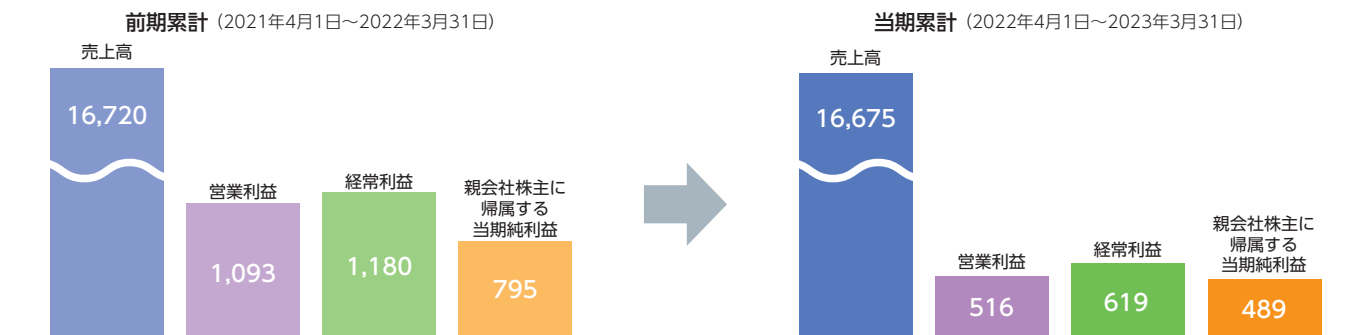
(注) 第61期より、「収益認識会計基準」等の適用により、売上高が減少していますが、利益に対する影響はありません。

連結財務諸表

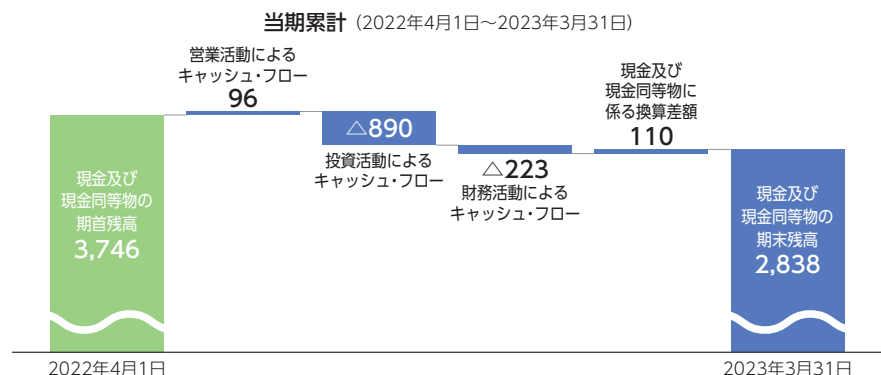
連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



財務情報のご案内

詳細な財務情報は、当社IRサイトより
ご覧いただけます。



IR・投資家
向け情報
Click!



<https://www.takamaz.co.jp/ir/>

会社概要	
商 号	高松機械工業株式会社
英 文 商 号	TAKAMATSU MACHINERY CO., LTD.
設 立	1961年7月
資 本 金	18億3,539万円
本 社	石川県白山市旭丘1丁目8番地
従 業 員 数	535名
事 業 内 容	● CNC旋盤等の製造、販売およびサービス・メンテナンス ● 部品、コレットチャック等の製造、販売 ● IT関連製造装置の製造 ● 自動車部品の加工
ホームページアドレス	https://www.takamaz.co.jp

役 員 (2023年6月29日現在)			
代表取締役会長	高 松	喜 与 志	
代表取締役社長	高 松	宗 一 郎	
専 務 取 締 役	徳 野		穰
常 務 取 締 役	磯 部		稔
常 務 取 締 役	四 十 万		尚
取締役 (社外)	中 西	祐 一	
取締役 (社外)	池 元	こ と み	
取締役 (社外)	高 田	英 美	
常 勤 監 査 役	村 田	俊 哉	
監査役 (社外)	高 井	和 男	
監査役 (社外)	寺 井	尚 孝	

執行役員			
上 席 執 行 役 員	唐 木	英 幹	
上 席 執 行 役 員	梅 田	勝	
執 行 役 員	古 屋	孝	
執 行 役 員	山 野	真	

ネットワークとサービス体制



株式の状況

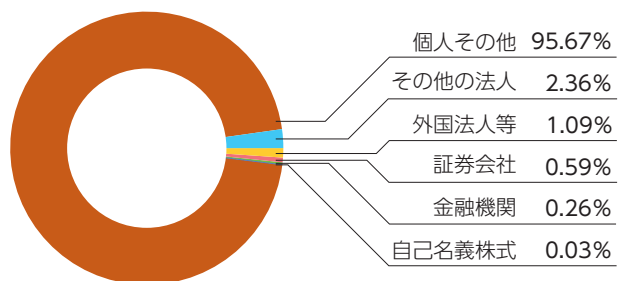
発行可能株式総数	30,000,000 株
発行済株式総数	11,020,000 株
1単元の株式数	100 株
株主数	3,048 名

大株主

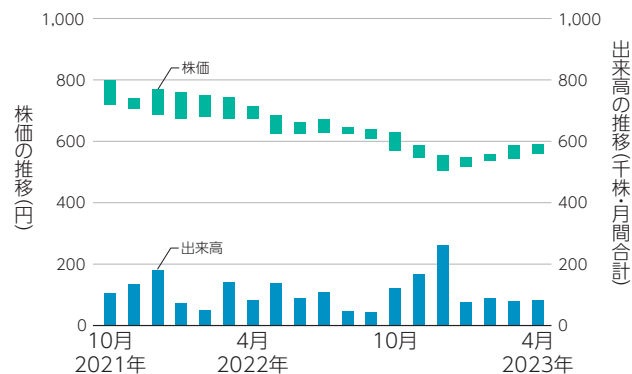
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
高松機械工業取引先持株会	1,055	9.75
株式会社タカマツ	810	7.48
北国総合リース株式会社	433	4.00
株式会社北国銀行	408	3.77
日本生命保険相互会社	384	3.55
株式会社朝日電機製作所	361	3.34
明治安田生命保険相互会社	360	3.32
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	348	3.22
高松機械工業社員持株会	335	3.10
高松明毅	330	3.05

(注) 持株比率は自己株式(188,012株)を控除して計算しております。

所有者別株主数比率



株価・出来高の推移

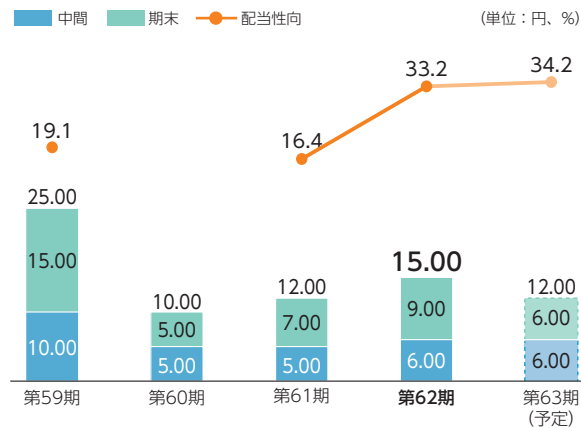


配当方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付け、安定的な配当水準を維持していく方針です。

また、将来の利益の成長および企業価値の向上に資する事業投資に充当するため、必要な内部留保を行っていきます。当社の剰余金の配当は、中間配当および期末配当の年2回を基本的な方針としています。

1株当たり配当額



※第60期においては、親会社株主に帰属する当期純利益がマイナスのため配当性向を表示しておりません。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

株主確定基準日
(1) 定時株主総会 3月31日
(2) 期末配当金 3月31日
(3) 中間配当金 9月30日
(4) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031
受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)
(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告の方法 当社ホームページに掲載
<https://www.takamaz.co.jp>

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

お問い合わせ先 管理本部 企画経理部
TEL 076-274-1410(直通)
FAX 076-274-1418

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

アンケートご協力をお願い 〈単元株主の皆様へ〉

株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただきますため、WEBアンケートを実施いたします。お手数ですが、ご協力をお願いいたします。なお、本アンケートは、あさひ工場見学会の応募フォームも併用しております。工場見学会の詳細は6ページをご覧ください。



アクセス方法

下記の方法でアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

アクセスコード

パソコンから

右記のURLからアクセスいただけます。

<https://q.srdb.jp/>

スマートフォン・携帯電話から

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからアンケートサイトへアクセスいただけます。



メールから

enq@q.srdb.jpへ空メールをご送信いただき、自動返送されるアンケート回答用のURLからアクセスいただけます。

アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから
2023年8月25日(金)までになります。

個人情報の取り扱いに関して

お答えいただくアンケートの回答内容・個人情報につきましては、「統計的にデータをまとめたうえで分析し、サービスを改善すること、あさひ工場見学会のご案内」を目的として利用させていただきます。その他、個人情報に関する取り扱いに関しての詳細は宝印刷株式会社の「個人情報の取り扱い」(<https://www.takara-print.co.jp/privacy/>)のとおりです。

アンケートにご回答くださった、2023年3月31日現在で100株(1単元)以上保有する株主様には粗品を送付させていただきます。